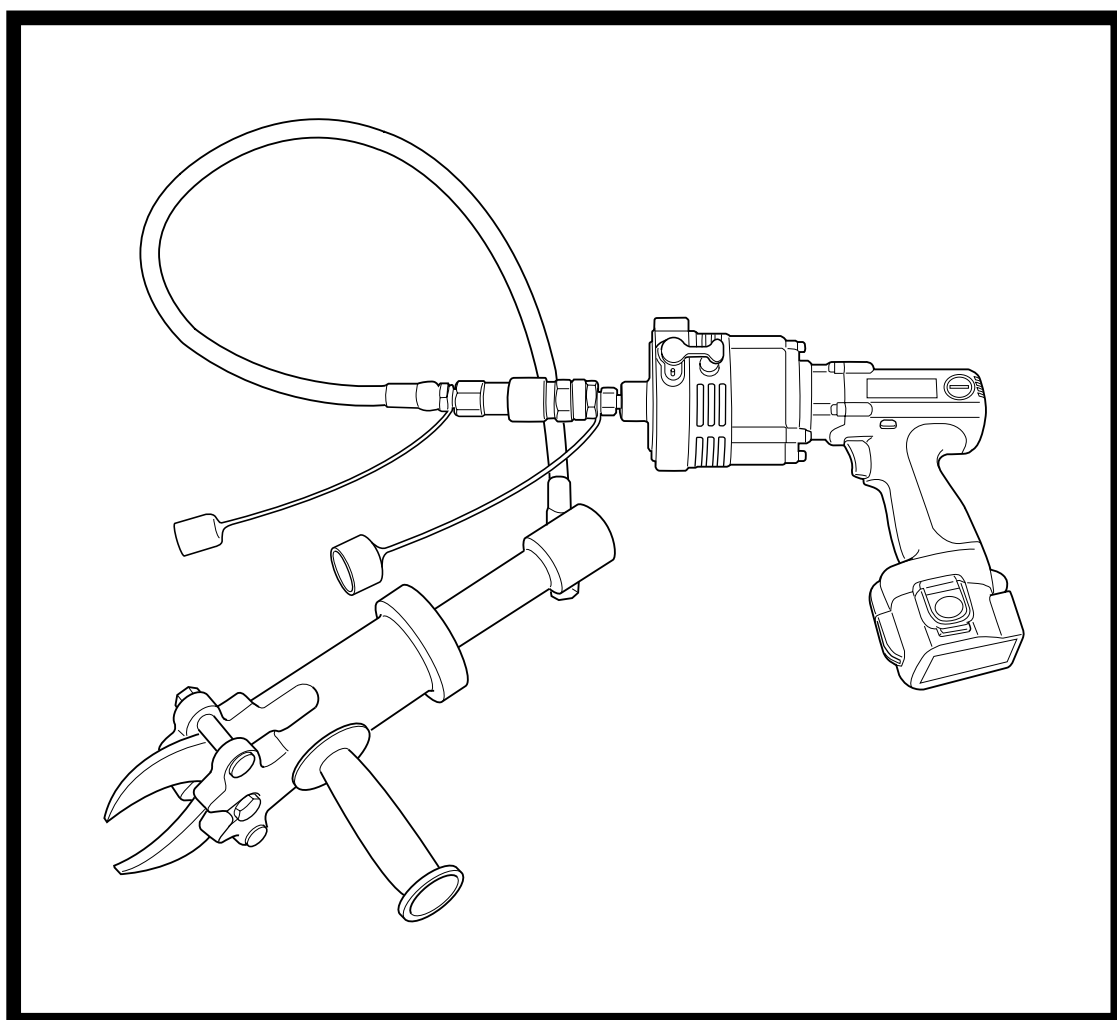


# Ogura® MULTI CUTTER

充電式油圧救助器具マルチカッター  
Model: OMC-119

## 取扱説明書



当社製品を安全にご使用いただくために、取り付けおよび操作の前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、必要なときに参照できるようお手元に大切に保管してください。

# 目次

警告 / 注意 .....	3
各部の名称と仕様 .....	6
各ユニットの取り外し、取り付け方法 .....	7
油圧ポンプ操作上の注意 .....	9
ハサミカッターの操作方法 .....	10
スプレッターの操作方法 .....	14
パーカッターの操作方法 .....	16
作動油の補充方法 .....	18
バッテリーの充電について .....	19

## 安全上のご注意

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



### 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



## 警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 充電器とバッテリーは取扱説明書に記載されている組み合わせで使用してください。
  - 指定以外の組み合わせでは、破裂して傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。
- 正しく充電してください。
  - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
  - 温度が10 未満、あるいは温度が40 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
  - バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
  - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
- バッテリーの端子間を短絡させないでください。釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- 感電に注意してください。
  - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
- 保護めがねを使用してください。
  - 作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。切削したもののや粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
- 製品の刃物など作動部分には手を触れないでください。
  - 刃物の刃先は危険です。
  - 作動部は加工のための大きな力を出力して動くため危険です。
- 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。
  - 使用しない、または、修理する場合。
  - 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
  - その他危険が予想される場合。
- 本体が作動して、けがのおそれがあります。
- 不意な始動は避けてください。
  - スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動してけがのおそれがあります。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となるおそれがあります。
- バッテリーを火中に投入しないでください。破裂したり、有毒物質の出るおそれがあります。
- 対象物を切断する際には切断片が飛ぶことがあります。
  - ご使用時には周囲の安全に十分ご注意ください。また、作業者(機械の使用者)は対象物を切断する側へ顔や手など身体が近づくような姿勢を絶対にとらないでください。切断片が飛んで負傷するおそれがあります。
  - 対象物を短かく切断する際に、切断の方向や対象物の材質などの条件によっては、切断片が異常に高く跳ねたり、強く飛んだりして負傷するおそれがあります。本書の「操作方法」部分の記述をよくお読みください。

## 注 意

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故のおそれがあります。
- 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがのおそれがあります。
  - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがのおそれがあります。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故のおそれがあります。
  - ・ 充電工具やバッテリーを、温度が40 以上になる可能性がある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。
- 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上のご使用は事故のおそれがあります。
  - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火のおそれがあります。
- 作業に合った充電工具を使用してください。
  - ・ 小形の充電工具やアタッチメントは、大形の充電工具で行なう作業には使用しないでください。けがのおそれがあります。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。けがのおそれがあります。
- きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがのおそれがあります。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
- 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・ コードを熱、油、薬品、角のとがった所に近づけないでください。
  - ・ コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがのおそれがあります。
- 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがのおそれがあります。
  - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがのおそれがあります。
  - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には、交換してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがのおそれがあります。
- 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。
  - ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがのおそれがあります。
- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

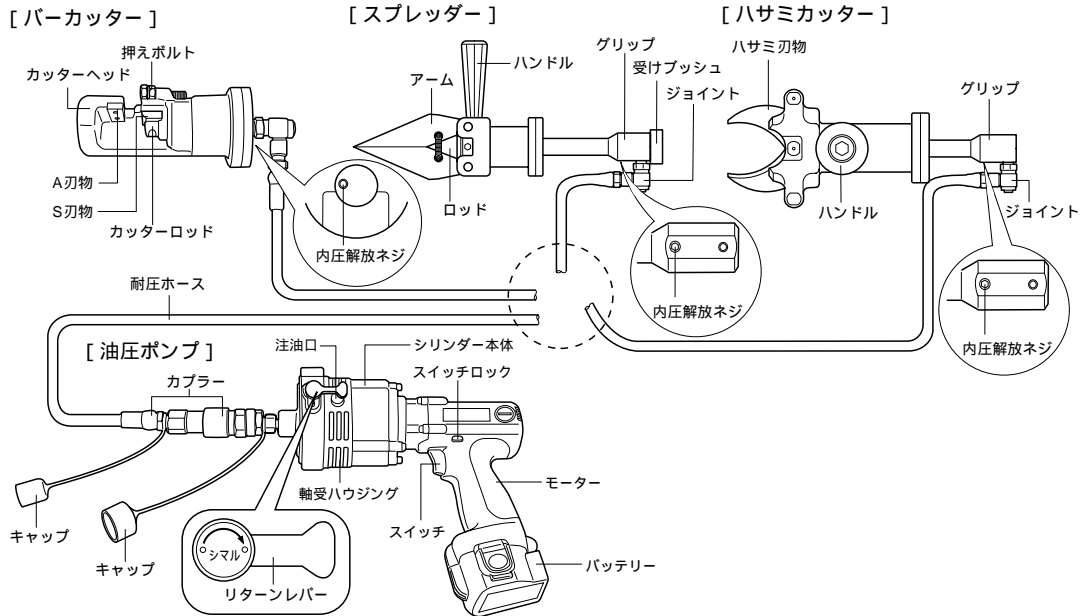


## 注意

12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
  - ・ 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
  - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火するおそれがあります。
14. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。
  - ・ サービスマン以外の方は本体、充電器、バッテリーを分解したり、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。
  - ・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。
  - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

# 各部の名称と仕様

## 各部の名称



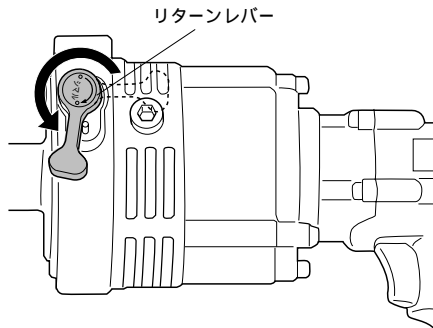
## 仕様

	ハサミカッター	パーカッター	スプレッダー
モーター	直流マグネットモーター		
バッテリー	ニッケル水素電池 (バッテリー1235A) 27分充電		
電圧	直流12V		
切断能力	先端部 19.6kN/mm <sup>2</sup> 中央部 56.8kN/mm <sup>2</sup>	SD295相当鉄筋 最大D16(5/8") SS相当板材 最大38mm×t6 70.6kN/mm <sup>2</sup>	-
切断速度	-	6秒 (鉄筋切断時)	-
開口幅	72mm	-	120mm
開力	-	-	先端部 39.2kN/mm <sup>2</sup> 中央部 49kN/mm <sup>2</sup>
機体寸法 (各ユニット側)	417mm(L)×140mm(W)× 84mm(H)	228mm(L)×105mm(W)× 84mm(H)	471mm(L)×106mm(W)× 105mm(H)
機体寸法(ポンプ側)	367mm(L)×126mm(W)×269mm(H)		
ホース長	1m	1m	1m
質量(カッターヘッド・ツール ・スプレッダー側)	7.2kg	5.2kg	7.8kg
重量(ポンプ側)	4.95kg		
急速充電器	DC1439		
入力電圧	単相交流100V		
入力周波数	50 - 60Hz		
入力容量	370V・A		
出力電圧	直流 7.2 - 9.6 - 12 - 14.4V		
出力電流	直流 9A		

## 付属品

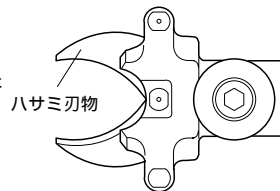
充電器 (DC1439) .....	1	油圧オイル (35cm <sup>3</sup> ) .....	1
六角棒レンチ (M3, M4, M8) .....	各 1	収納ケース .....	1
スパナー (10, 17) .....	各 1		

## 各ユニット(ハサミカッター部分、バーカッター部分、スプレッター部分を意味します)の取り外し、取り付け方法



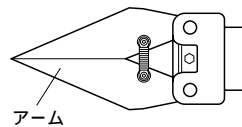
### ① ハサミカッター

(ハサミ刃物が開いた状態)



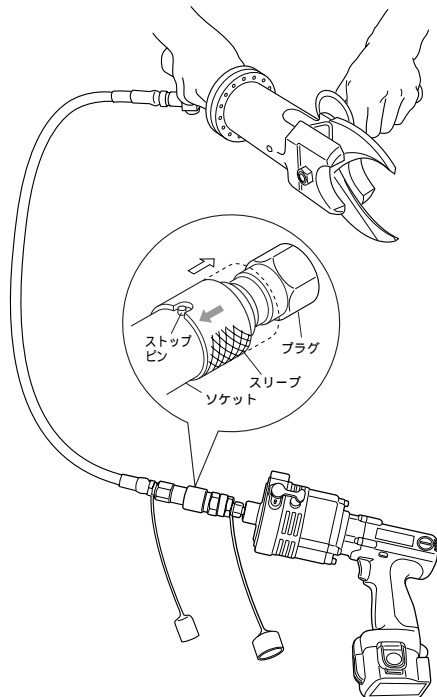
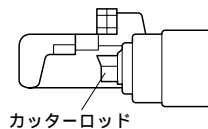
### ② スプレッター

(アームが開いた状態)



### ③ バーカッター

(カッターロッドがもどりきった状態)



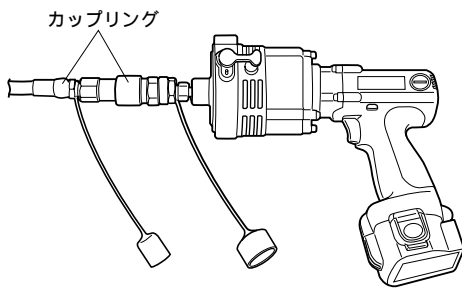
### 取り外しの手順

1. 「リターンレバー」を時計回りと反対方向へゆるめて、ユニットの先端部を完全に始動前の状態にもどしてください。  
(始動前の状態とは)  
ハサミカッターでは、「ハサミ刃物」が完全に開いた状態、  
スプレッターでは、「アーム」が完全に閉じた状態、  
バーカッターでは、「カッターロッド」が完全に始点までもどりきった状態、です。

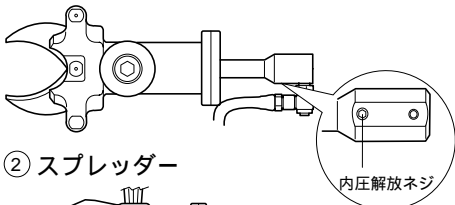
### ご注意

ユニットを交換する前に、必ずそのユニットの先端部が始動前の状態にもどっていることを確認してください。先端部が加工直後の状態のままでは、ホースとユニット内部の圧力が高いため、ユニットの交換ができません。

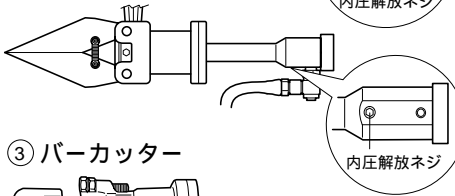
2. 各ユニット側には接続カップリングの「プラグ(オス)」が、またポンプ側には「ソケット(メス)」が取り付けられており、「ソケット(メス)」の「スリーブ」を回転させて、切り欠きとストップピンの位置に合わせ、これを引っ張ることでカップリングを分離します。



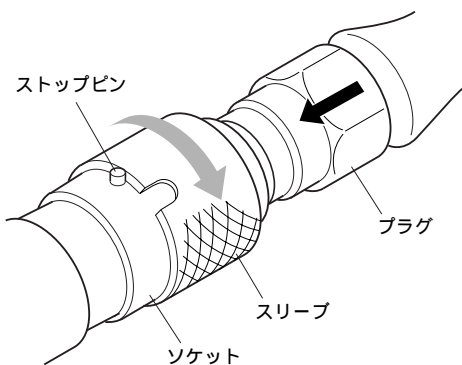
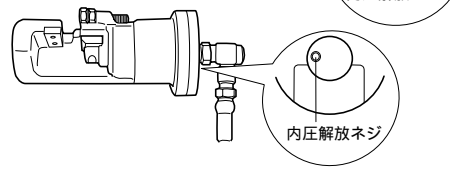
① ハサミカッター



② スプレッター



③ パーカッター



ご注意

ユニットの先端部が始動前の状態にもどっていないままでは絶対にカップリングを分離しないでください。ホースとユニット内部の圧力が高いため、この状態でカップリングを分離してしまうと接続することができなくなります。誤ってカップリングを分離してしまった場合には、無理に接続しなおしたり、別のユニットを無理に取り付けようとしないでください。下記を参照して、復旧操作をしてください。

操作1. ユニット側の「内圧解放ネジ」の穴へ付属の六角棒レンチを差し込んでください。各ユニットの「内圧解放ネジ」の穴の位置は次のとおりです。

ハサミカッターでは、グリップ部分のジョイント横

スプレッターでは、グリップ部分のジョイント横

パーカッターでは、フランジ部分

操作2. 六角棒レンチを時計回りと反対方向へまわして、ネジを少しゆるめてください。ネジがゆるむと内部から油圧オイルが漏れ出しますので、ウエス布などをご用意ください。オイルが漏れ出すと同時にユニット内部の圧力が低下しますので、すぐにまた「内部解放ネジ」は時計回り方向へしっかりと締め込んでください。

操作3. ユニットの内圧が低下したため、この状態でカップリングが接続できます。「取り付けの手順」にしたがってカップリングを接続してください。

操作4. 接続後は18ページの「作動油の補充方法」にしたがって、漏れ出した油圧オイル量の程度をポンプ本体へ補充しておいてください。

3. カップリング(プラグおよびソケット)を分離した後は、付属の「キャップ」をしっかりとかぶせておいてください。

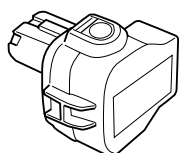
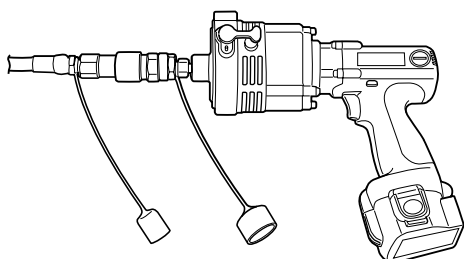
ご注意

カップリングの脱着時に、接続部よりわずかに油が漏れ落ちることがあります。

取り付けの手順

取り付けるユニット側の「プラグ(オス)」を、ポンプ側の「ソケット(メス)」へ押し込みます。接続後はかならずソケットの「スリーブ」をまわして抜け止めのため、ピンの位置をずらしておいてください。

# 油圧ポンプ操作上の注意



×2

連続使用は2個まで

(バッテリー 1235A)

1. ポンプユニットに内蔵されているリリーフ弁が作動した時は、直ぐにスイッチを引く事を中止してください。

## ⚠ 警告

リリーフ弁が作動しているにもかかわらず、スイッチを引き続けるとモーターおよびスイッチへの過大な負担が生じ、とくにスイッチの燃損から短絡が起きる危険があります。

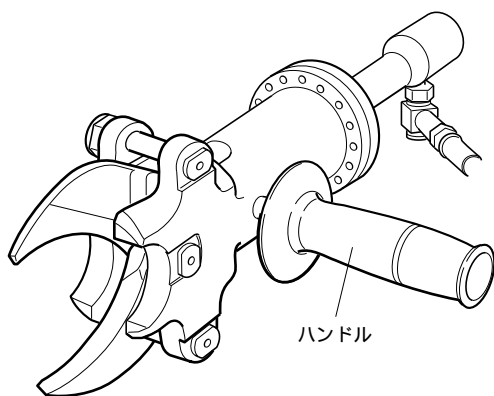
リリーフ弁が作動すると作動音が変わりますので、ただちにスイッチ操作をやめてください。

2. 連続使用時間は40分以内としてください。目安としてバッテリー 2 個の連続使用を限度としてください。

## ⚠ 警告

長時間の連続使用はモーターの発熱により【モーター焼け】の原因となりますのでご注意ください。

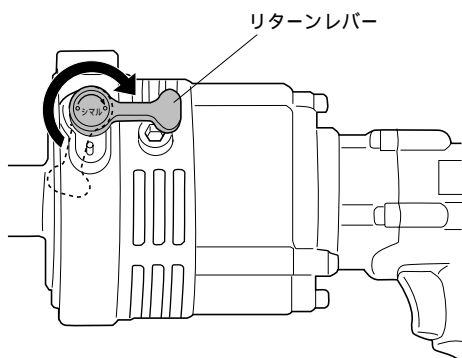
# ハサミカッターの操作方法



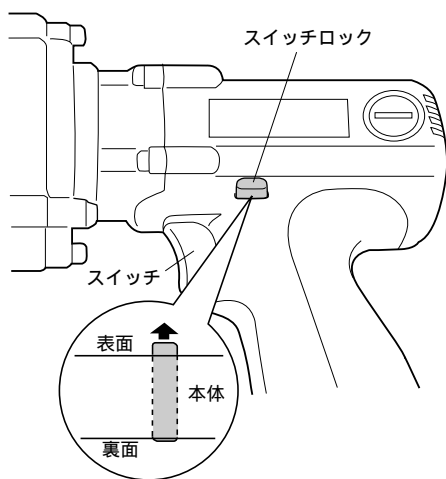
1. 「ハンドル」を使いやすい側に取り付けてください。
2. 切断する対象物にカッターのハサミ刃物をセットしてください。このときできるだけ、切断する対象物に対して「ハサミ刃物」が直角に当たるようにしてください。

## 警告

対象物として無垢の硬い物（ピアノ線・鉄筋等）は「ハサミ刃物」の欠けや割れの原因になり大変危険です。



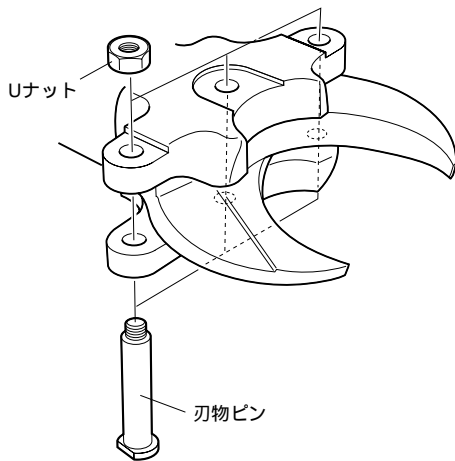
3. 「リターンレバー」が時計回り方向にしっかりと閉まっているか確認してください。



4. 左図の「スイッチロック」を解除してからスイッチを引くと、カッターの「ハサミ刃物」が作動し対象物を数秒で切断します。このとき、スイッチを離れた任意の位置で「ハサミ刃物」は作動を停止します。切断終了後、または任意の位置で停止させた後、「ハサミ刃物」をふたたび開くために、「リターンレバー」を時計回りと反対の方向へゆるめてください。

## 警告

作業をしない時は、常にポンプ本体のスイッチを「スイッチロック」で固定してください。



ハサミカッターの「ハサミ刃物」は、刃こぼれなどにより作業に支障をきたしたり、刃物全体の破損につながるような損傷がある場合には、片方または一組の刃物をすみやかに交換してください。

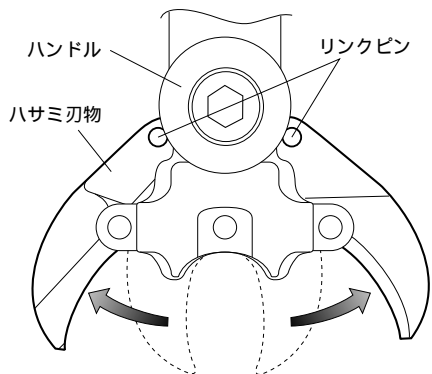
#### 「ハサミ刃物」取り外しの手順

1. ポンプ本体の「バッテリー」を抜くか、スイッチ部の「スイッチロック」をしてください。

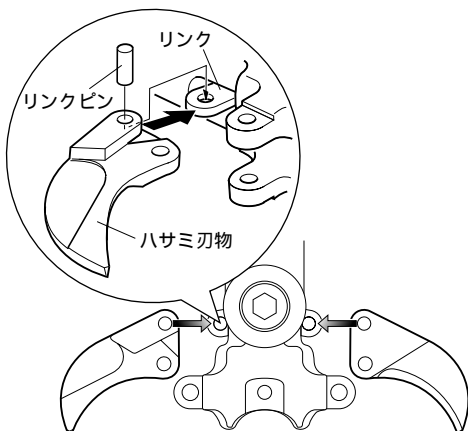
#### ⚠ 警告

刃物を交換する作業の前に、必ずバッテリーを抜くか、またはスイッチ部の「スイッチロック」をして、不意にモーターが起動しないようにしてください。不慮の事故の原因となりたいへん危険です。

2. 図のように、ハサミカッターユニットの3カ所の「Uナット」をゆるめ「刃物ピン」を抜いてください。

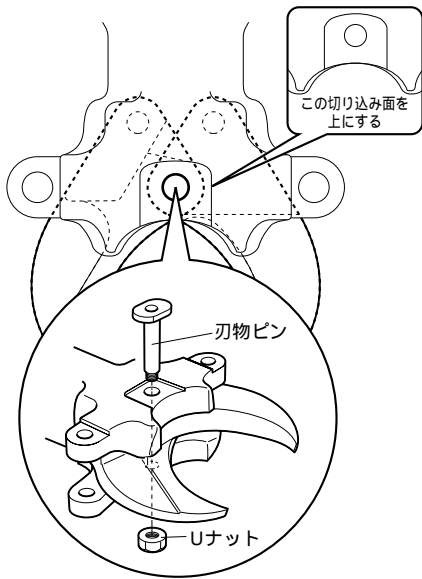


3. 前項で「刃物ピン」を抜いたあと、ハサミ刃物を手でさらに開きます。
4. 図のように「ハサミ刃物」を開いた状態で「リンクピン」が見えてきますので、これを抜いてください。「ハサミ刃物」を取り外すことができます。

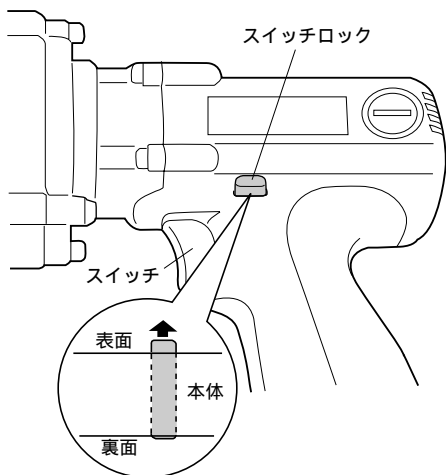


#### 「ハサミ刃物」取り付けの手順

1. 図中の「リンク」の穴が見える位置まで開き出してください。
2. 新しく交換する「ハサミ刃物」の穴を合わせて、「リンクピン」を差し込みます。



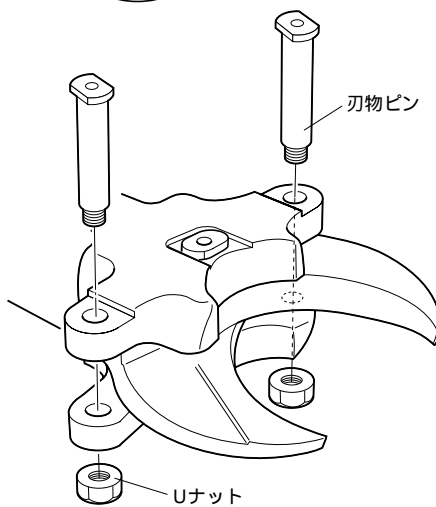
- 刃物を交差させながら中央の「刃物ピン」の穴に合わせて「刃物ピン」を差し込み、「Uナット」で固定します。このとき、図中にあるように、四角い切り込みのある面を上にして作業をおこなってください。



- 『ポンプ本体』へ「バッテリー」を取り付け、「スイッチロック」を解除します。これでスイッチ操作によりモーターが起動しますので、スイッチを引き、前項で取り付けた「ハサミ刃物」が良好に開くかどうかを確認してください。

ご注意

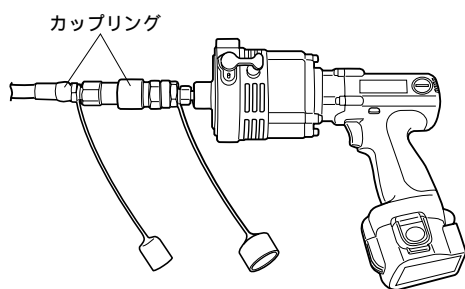
「リターンレバー」をゆるめても「ハサミ刃物」がうまく開かない場合には、上記3項で固定した「刃物ピン」と「Uナット」の締め付けが強すぎますので、調整してください。



- 残った2カ所の「刃物ピン」と「Uナット」を適切に締め付けて固定してください。その後は前項のようにスイッチ操作をして、「ハサミ刃物」の開閉が良好に作動する事を確認してください。

ご注意

「リターンレバー」をゆるめても「ハサミ刃物」がうまく開かない場合には、上記5項で固定した「刃物ピン」と「Uナット」の締め付けが強すぎますので、調整してください。



— ご注意 —

「ハサミカッター」から、別のユニットへ交換する場合には、必ずハサミ刃物が完全に開いた状態（始動前の状態）になっていることを確認してください。

ハサミ刃物が閉じたままでは、絶対にポンプ本体側のカップリングをはずさないでください。

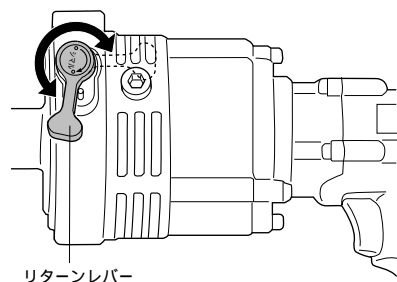
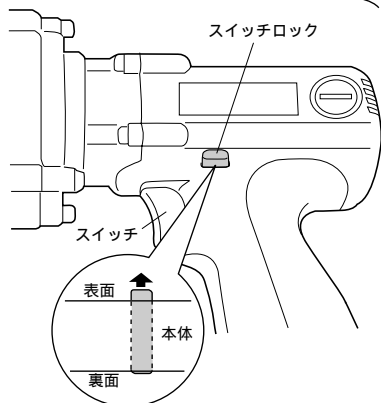
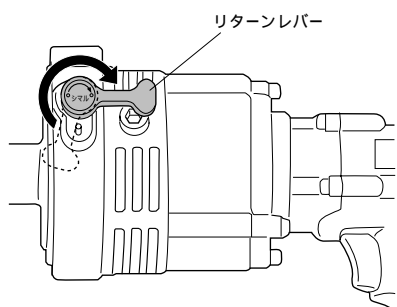
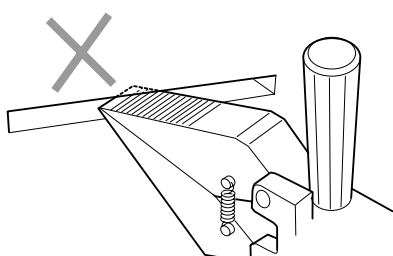
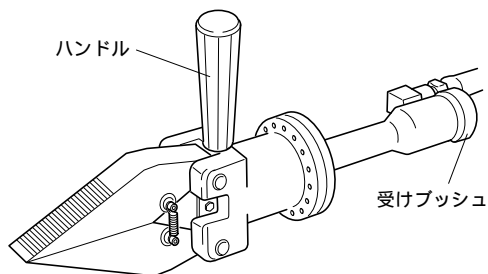
（ユニット交換の際は、7、8ページの手順と注意事項をよくお読みください。）

— ご注意 —

カプラーをはずして、ハサミカッター側とポンプ側の接続をはなした場合には、絶対にスイッチを引かないでください。

ポンプ内の圧力が高まってたいへん危険です。

# スプレッターの操作方法



1. 「ハンドル」を使いやすい位置に取り付けてください。「ハンドル」はネジ込み式になっており、状況に応じて4カ所の取り付け位置を選んで取り付けてください。
2. 開口する対象物にスプレッターの先端を差し込んでください。このとき、開口するきっかけとなる部分へスプレッター先端を押し込む必要がある場合は、スプレッターの「グリップ」後方の「受けブッシュ」末端の平面をたたくなどしてください。

## 警告

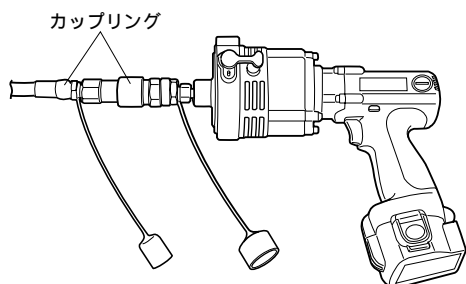
スプレッターの先端を“片掛け”して使用すると先端部が折れて飛散する事がありますのでたいへん危険です。必ず対象物に対し先端部を均一に差し込むようにしてください。

3. 「リターンレバー」が時計回り方向にしっかりと閉まっているか確認してください。
4. 左図の「スイッチロック」を解除してからスイッチを引くとスプレッターの「ロッド」が前進し「アーム」が開き始めます。このアームが開く動きによって、対象物は数秒で開かれます。このとき、スイッチを放した任意の位置で「アーム」は停止します。

## 警告

作業をしない時は、常にポンプ本体のスイッチを「スイッチロック」で固定してください。

5. 加工終了後、「アーム」をふたたび閉じるためには、「リターンレバー」を反時計回り方向へゆるめると「アーム」は閉じます。



— ご注意 —

「スプレッダー」から、別のユニットへ交換する場合には、必ずアームが完全に閉じている状態（始動前の状態）になっていることを確認してください。

アームが開いた状態では、絶対にポンプ本体側のカップリングをはずさないでください。

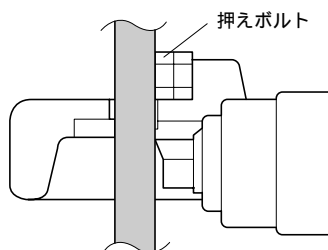
（ユニット交換の際は、7、8ページの手順と注意事項をよくお読みください。）

— ご注意 —

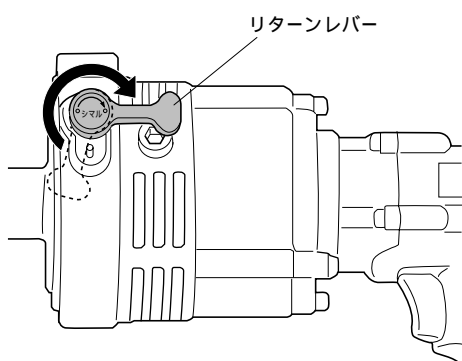
カプラーをはずして、スプレッダー側とポンプ側の接続をはなした場合には、絶対にスイッチを引かないでください。

ポンプ内の圧力が高まってたいへん危険です。

# バーカッターの操作方法



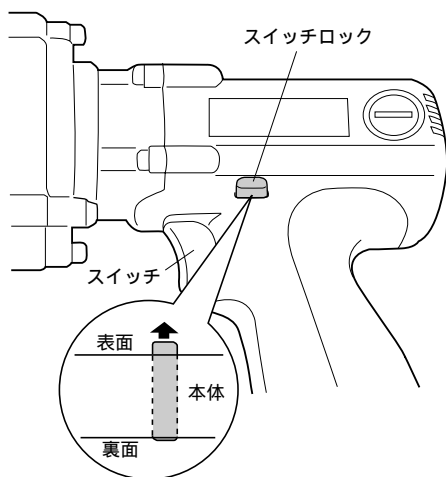
1. ペダルや鉄筋等の対象物を切断口の、刃物に対してなるべく直角になるようにセットしてください。  
このとき、対象物の厚さ(太さ)にあわせて「押さえボルト」を調整してください。対象物はこの「押さえボルト」で支えられて、切断時にも刃物に対して直角をたもちます。



2. 「リターンレバー」が時計回り方向にしっかりと閉まっていることを確認してください。

## 警告

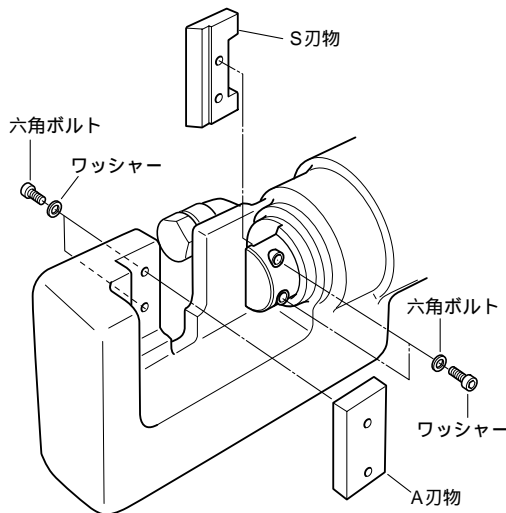
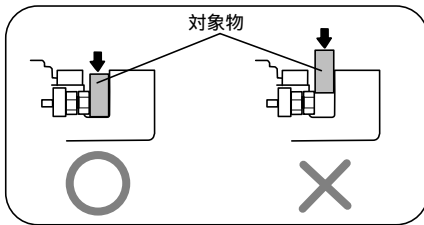
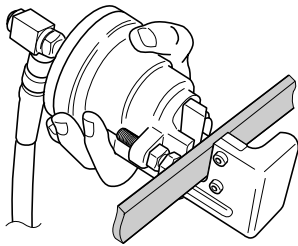
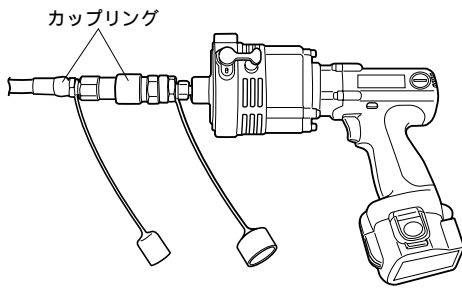
刃巾を超える対象物は切断しないでください。  
刃物が割れる原因になりたいへん危険です。



3. 左図の「スイッチロック」を解除してからスイッチを引くと、「刃物」の付いた「カッターロッド」が前進し対象物が数秒で切断されます。  
このとき、スイッチを放した任意の位置で「カッターロッド」は停止します。切断終了後、または任意の位置で停止させた後、「カッターロッド」をふたたび始点までもどすには、「リターンレバー」を時計回りと反対の方向へゆるめてください。

## 警告

作業をしない時は、常にポンプ本体のスイッチを「スイッチロック」で固定してください。



### ご注意

「パーカッター」から、別のユニットへ交換する場合には、必ず刃物が完全に始点までもどっていること（始動前の状態）を確認してください。

刃物が先端に出た状態では、絶対にポンプ本体側のカップリングをはずさないでください。

（ユニット交換の際は、7、8ページの手順と注意事項をよくお読みください。）

### ご注意

カプラーをはずして、パーカッター側とポンプ側の接続をはなした場合には、絶対にスイッチを引かないでください。

ポンプ内の圧力が高まってたいへん危険です。

## 警告

対象物をセットする位置が浅い場合には、切断時に浮きあがって刃物からはずれるおそれがあり、事故による負傷の危険があります。また刃物が割れる原因にもなります。

材料を刃物の間に十分に深くセットしてください。

パーカッターの「A、およびS刃物」は、刃こぼれや破損により作業に支障をきたすだけでなく、刃物以外の主要部分の破損、さらに作業や救出対象者に危険が及ぶようなおそれがあります。刃こぼれ、亀裂、変形、破損がある場合には、すみやかにAおよびS刃物を一組（セット）で交換してください。

### 刃物の交換の手順

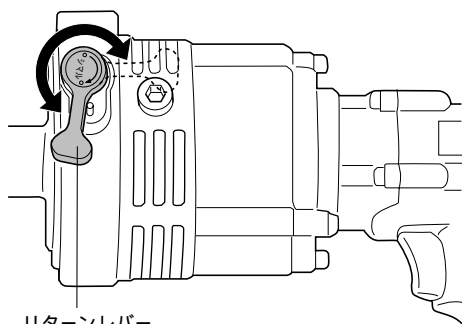
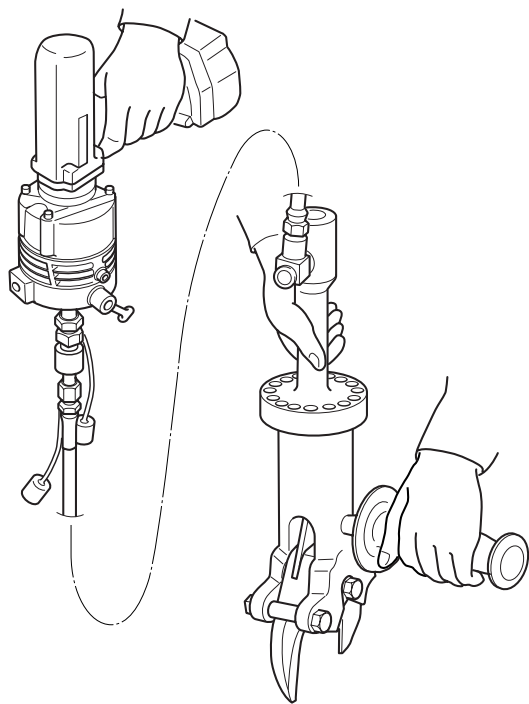
A刃物（固定されたカッターヘッド側）およびS刃物（可動するカッターロッド側）を固定している六角ボルトとワッシャーをゆるめて刃物を取り外し、新しい刃物と交換してください。

図を参照のうえ、S刃物の取り付け方向にご注意ください。

## 警告

「AおよびS刃物」は定期的に【ボルトの増し締め】をおこなってください。ボルトが緩んだ状態で使用すると、刃物の割れる原因になりたいへん危険です。

## 作動油の補充方法



リターンレバー

使用頻度によりませんが、2,3ヶ月に一度行ってください。

1. ユニット部(ハサミカッター部分、バーカッター部分、スプレッダー部分それぞれを意味します)とポンプ部をつないでいるカップリング(プラグ)およびソケットがしっかりと接続されていることを確認してください。
2. ユニット内部の気泡(エア)を抜くため、ユニット部はポンプ部よりも下にしてください。
3. ユニット部は油圧ホースが上になるように立てた状態にして、スイッチを断続的に引き、ユニットの種類に応じてストロークいっぱい(モーター音が変わる)まで作動させてください。

4. 耐圧ホースが天地に一直線になるようにポンプ部のモータを立てた状態で頭上に持ち上げ、「リターンレバー」を反時計回り方向へゆるめて、作動部を完全に始点へもどしてください。  
エアが入っている時は「リターンレバー」をゆるめた時にボコボコと音がします。

### ご注意

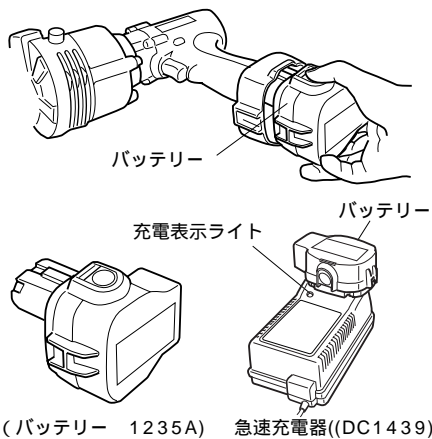
作動油を補充する前に、必ず作動部を始点へもどしてください。

5. 「リターンレバー」を時計回りの方向へ締め込んでください。
6. 付属の六角棒レンチ(M8)で注油口のボルトをはずし、油面がさがっている場合には、付属の油圧オイルを内ネジの下部まで注いでください。
7. 注油口のボルトを緩まない程度に締め込んでください。
8. 油面がさがらなくなるまで、上記3.から5.までの手順を数回くりかえしてください。

### ご注意

作動油の補充は、ユニット部とポンプ部が接続されている状態でおこなってください。

# バッテリーの充電について



(バッテリー 1235A) 急速充電器(DC1439)

充電時間   バッテリー (1235A)  
                   急速充電器 (DC1439)  
 時           間       27分

- ・ご使用前にバッテリーを急速充電器で充電してください。
- ・バッテリーを取り出すときは、両側のセットボタンを押し、バッテリーをしっかりと保持して取り出してください。
- ・急速充電器のプラグを100ボルトの電源に差し込んでください。  
 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
- ・バッテリーを急速充電器に挿入してください。挿入は ⊕ ⊖ に注意し充電器の挿入ガイドにそって充電器の底にあたるまで入れてください。
- ・バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し充電を開始します。  
 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり電子ブザーが「ピー」と約5秒鳴ります。
- ・充電が完了しましたら、バッテリーを機械に差し込んでください。

## ご注意

- ・DC1439はバッテリー専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・新品や長期間使用されなかったバッテリーは、1回の充電で満充電にならないことがあります。このようなときは、使用・充電を2～3回繰り返してください。
- ・使用直後のバッテリーや直射日光の当たる場所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときはバッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- ・充電開始後、充電表示ライトが「赤」、「緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピ」と約20秒鳴った場合はバッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・DC1439にてバッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。15分以上の間をあけてご使用ください。

## バッテリー（ニッケル水素）について

この製品は充電式バッテリーモーターを採用しております。バッテリーにつきましては、以下のような「残容量表示機能」と「容量劣化チェック機能」を備えています。

### 「残容量表示機能」について

バッテリーの表示ボタンを押すことで、表示部分のランプが約3秒間点灯してバッテリーの残容量を表示します。蓄電量の残りが一目でわかります。日常メンテナンス時にも必須の機能です。

### 「表示の見かた」

表示ランプ	残容量
	80%～100%
	60%～80%
	40%～60%
	20%～40%
	10%～20%
の点滅	0%～10%

### 「容量劣化チェック機能」について

バッテリーの表示ボタンを10秒間以上押し続けてください。まずバッテリーの残容量を表示していったん消えますが、そのまま表示ボタンを押し続けると、劣化状態を約3秒間表示します。表示ランプの点灯が3個以下の場合は、バッテリーの寿命です。交換の目安としてください。日常メンテナンス時にも必須の機能です。

### 「メモリー効果」について

追い充電をくりかえしおこないますとメモリー効果がおきて、フル充電できなくなることがあります。バッテリーのリフレッシュのために別売りの放電用蛍光灯（ML122）をお勧めします。



# Ogura®

製造元

**株式会社 オグーラ**  
〒243-0417 神奈川県海老名市本郷2661  
TEL. 046(238)1284 FAX. 046(238)4188

お問い合わせ、ご用命は下記の販売店へどうぞ

IOJIN.8500240/0310

